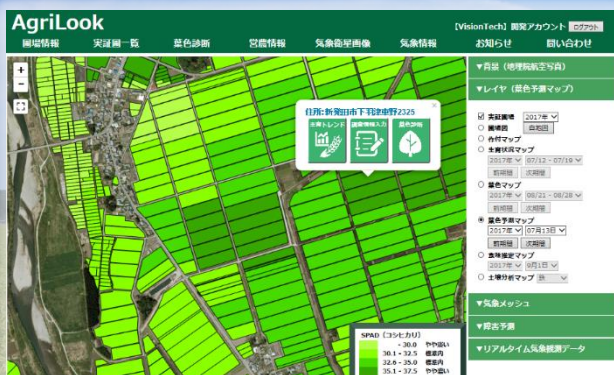


ビジョンテック 取り扱い製品のご紹介

1. AgriLook® (アグリルック) 水稲圃場農業情報提供サービス
2. 4バンドマルチスペクトルカメラ【LAQUINTA】
3. 【HSC-2】ハイパースペクトルカメラ
4. リアルタイム・ハンドヘルド3Dイメージャ【Leica BLK3D】
5. 多目的ドローン【GW-550】
6. MetaShape 高解像度オルソモザイク画像作成ソフトウェア
7. X/L-バンド衛星受信システム

1. AgriLook® (アグリルック) 水稲圃場農業情報提供サービス



アグリルック AgriLook

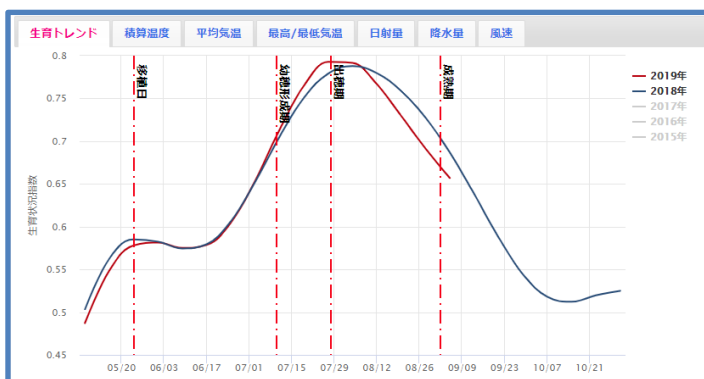
水稲圃場農業情報提供サービス

アグリルックは、効率的に高品質な「米」を安定的に生産するための、人工衛星を利用した農業ITシステムで、効率的な精密農業を実現します。

AgriLook提供コンテンツコンテンツ例

圃場ごとの生育トレンド・発育予測

※戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）で構築された農業データ連携基盤（WAGRI）の発育予測APIを利用しています。



気象データ (メッシュ・グラフ・各種予測利用)

※気象データは農業データ連携基盤（WAGRI）の気象APIを利用しています。



各種予測マップ

※マップ提供時の圃場図 (ポリゴン) は農業データ連携基盤 (WAGRI) の筆ポリゴンAPIを利用しています。

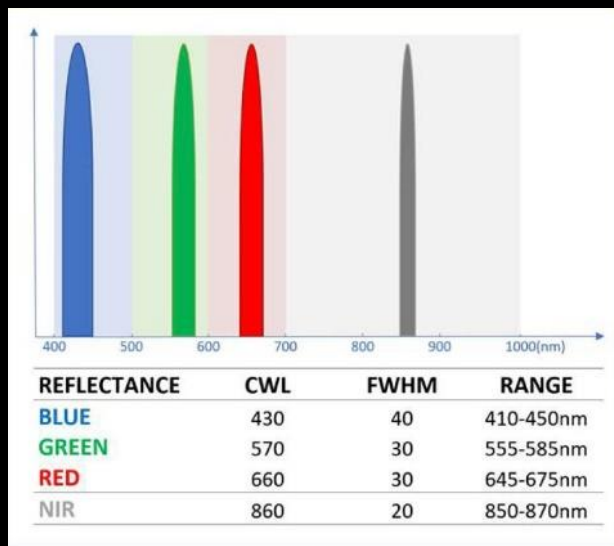
LAQUINTA

ラキнта

DB2Vision (オランダ) 製

見えない波長域を可視化する マルチスペクトルカメラ

LAQUINTAは世界で初めて、単一センサー、単一レンズで、UAV撮影と地上撮影が可能な精密農業用の高解像度4バンドマルチスペクトルカメラです。マルチカメラアレイにみられる位置ずれや、各バンドの撮影の時間差がなく、バンド間の位置ずれが発生しません。



単一レンズ/RGB-NIRの4バンド/4.1Mpixelセンサー

RAWマルチスペクトル画像取得時間：1.5フレーム/秒（最大）

IMU/GPS + ジオタグ+コンパス+気圧高度計を搭載し、ターゲットの正確な位置情報を取得可能

DB2Adapt-2-Light®可視-近赤外放射照度センサーによる撮影同期データによる画像キャリブレーション

カメラ内蔵タッチスクリーン、Android、iOSアプリ、およびWindows (Bluetooth) で操作可能

3. 【HSC-2】ハイパースペクトルカメラ

HSC-2 HYPERSPECTRAL CAMERA



HSC-2ハイパースペクトルカメラは世界最小のハイパースペクトルフレームカメラです。このHSC-2は、1回の撮影で可視-近赤外のスペクトル画像を最大1,000バンド、撮影可能で写真測量ソフトウェア

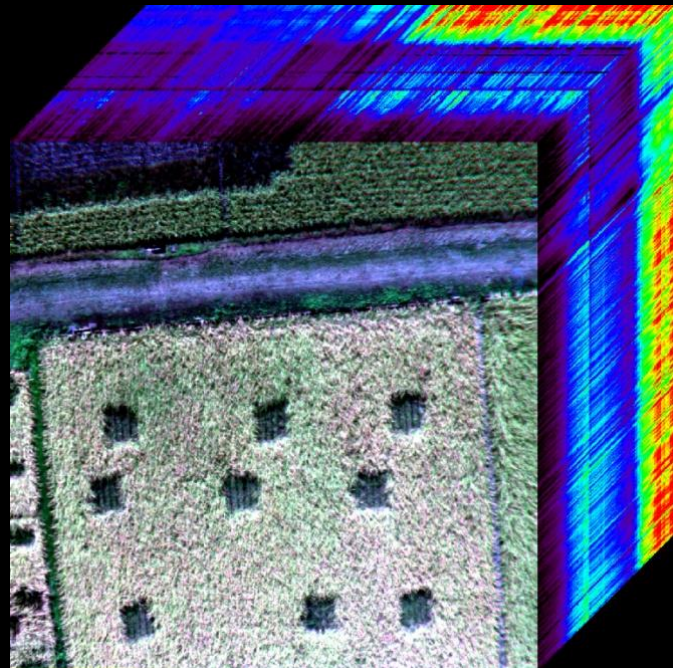
(Agisoft Metashape Professional等)でモザイク処理が可能です。

HSC-2ハイパースペクトルカメラは、ドローンをはじめ様々なプラットフォームに搭載されており、特に農業、林業、水質調査用のUAVに搭載している実績があります。

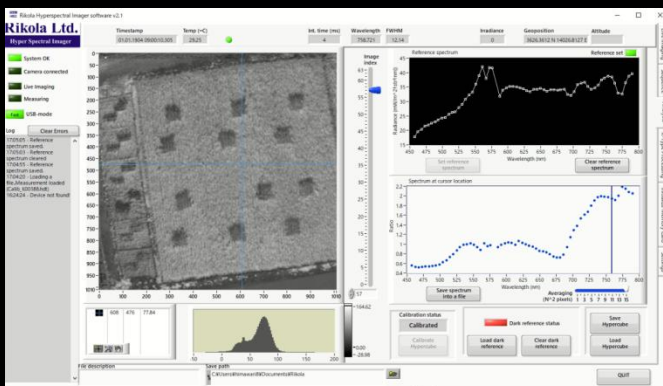
Copyright Senop Oy

主な特長

- ☆小型軽量(199.5mm×130.9mm×97.2mm, 986g)
- ☆最大1,000バンド撮影可能
- ☆中心波長を0.1nm間隔で設定可能
- ☆1バンド104.9万画素の2D撮影
- ☆12bitの高階調
- ☆カメラ単体で撮影
- ☆ドローン搭載可能
- ☆大容量ストレージ(1TB)



ハイパースペクトルキューブ



カメラ制御ソフトウェア画面

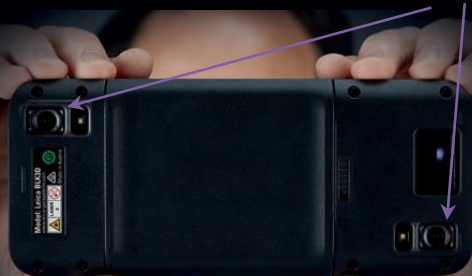
Leica Geosystems BLK3D

写真を撮る。同時にすべてを計る。

BLK3Dは、対角線上の2つのカメラから同時に取得された画像と合わせて3D測定することができるリアルタイム・ハンドヘルド3Dイメージャです。

プロジェクトの進捗管理や測定作業のドキュメント管理ツールとして利用できます。

ステレオカメラ



コンパクト、オールインワンの 写真測量ツール

BLK3Dは、キャリブレーションされたステレオカメラ、傾斜センサー、ソフトウェア、およびデバイス上のエッジ検出機能を組み合わせて、高精度でインピクチャの測定を行います。撮影された画像はすべて、正確な3D測定記録となります。



ステレオカメラ
2x 10 MP (158.00 mm対角校正ベースライン)
視野: 80° 焦点距離: 4.0 mm (35mm換算22 mm)
絞り: F3.0 同期LEDフラッシュ×2

GW-550



GPS自動航行機能搭載
多種多様な用途に対応する
多目的ドローン

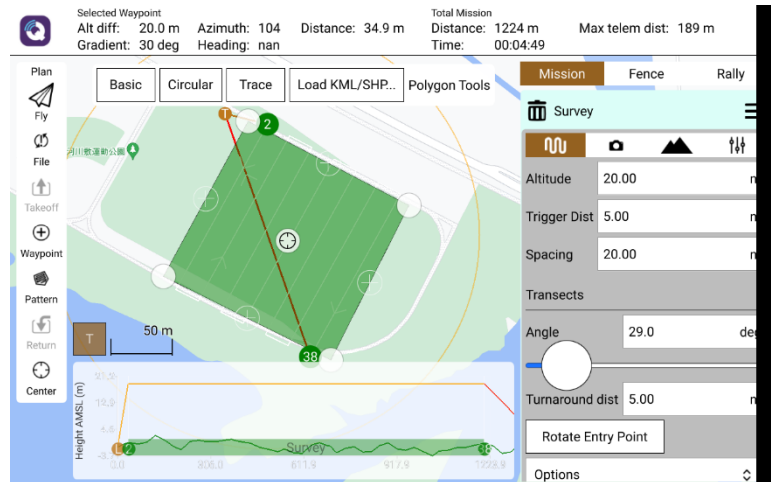
GW-550機体諸元

モーター対角軸間・・・550mm
プロペラ径・・・330mm
飛行時間・・・17分(ペイロード無し)
有効ペイロード・・・700g

※ 上記はLiPo4セル8Ah/バッテリー搭載時の目安です。搭載条件、気象条件、飛行高度などにより異なる場合があります。

産業利用向けに設計された
高剛性のマルチコプターです。
自動航行機能により誰でも簡単に
飛ばすことが可能です。
小型、軽量で手軽に扱え、様々な
用途に幅広くご利用いただけます。

- ※ 無線の届く範囲外でも自動航行を行う事が可能ですが、安全のため通信可能範囲内での使用をおすすめします。
- ※ 操縦用無線の到達距離は、見通しで3,500mとなります。
- ※ 製品の特性上、飛行機能の確認後の墜落、不具合に対しての保証はございません。点検・修理などは有償で承ります。
- ※ 雨天や濃霧、強風の中での飛行は機体の故障や事故につながる恐れがありますのでお控えください。
- ※ 自動航行はGPS情報を元に飛行するため、衛星受信状態の悪い環境では使用できません。
- ※ 製品の仕様は、予告なく変更する場合がございます。ご購入の際に最新の仕様をご確認ください。



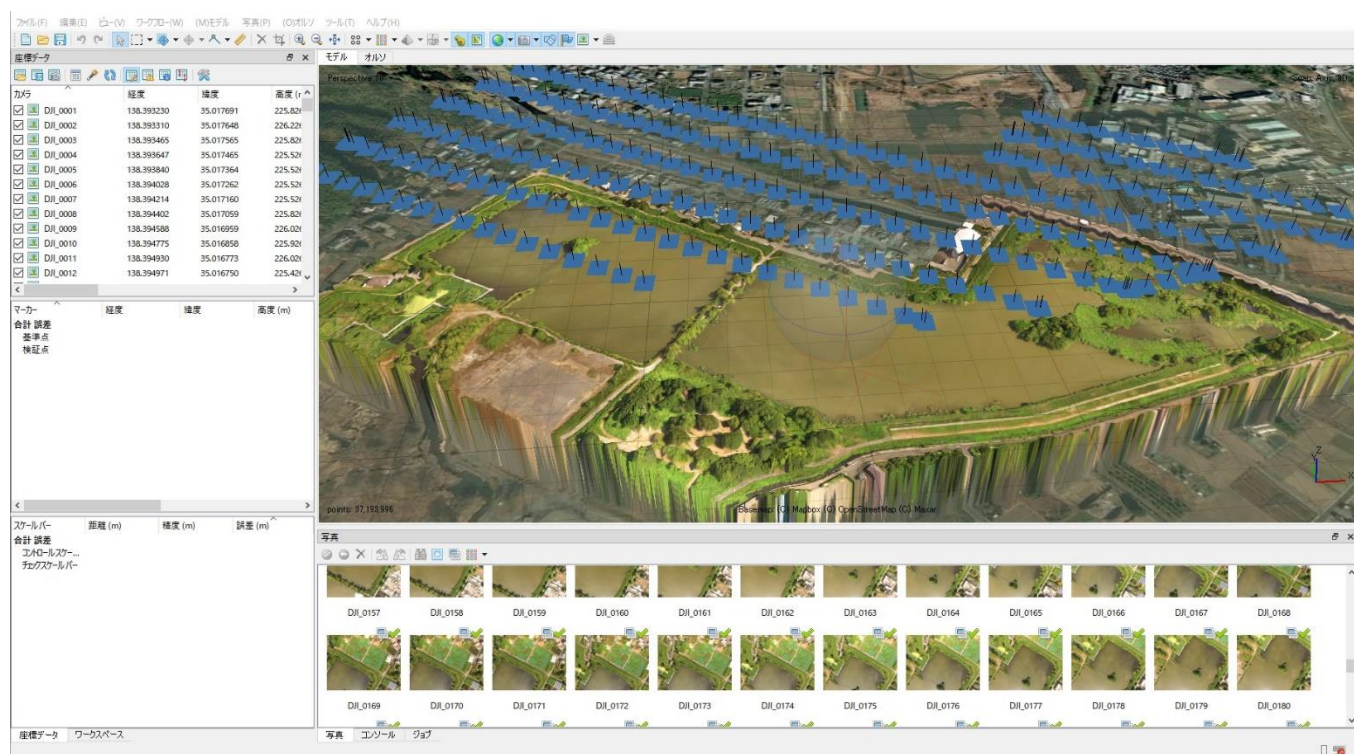
プロポ (MK15E) によるフライトプラン作成画面

6. MetaShape 高解像度オルソモザイク画像作成ソフトウェア



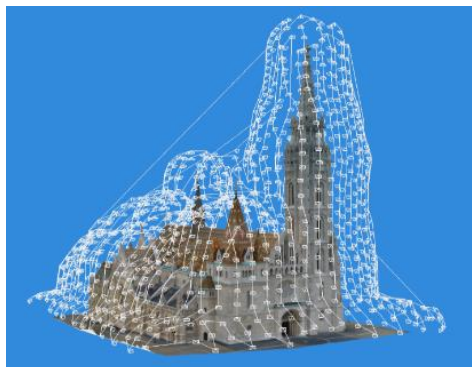
高解像度オルソモザイク画像作成ソフトウェア

Agisoft Metashapeは、ドローンなどによる空撮画像（ステレオ撮影やオーバーラップ撮影）および人工衛星画像から、高精度DSMやオルソモザイク画像、鳥瞰図、3Dモデルを作成するソフトウェアです。地上撮影の場合は被写体の3Dモデルを作成することができます。画像の位置合わせや3Dモデルの作成処理は自動化されており、簡単な操作で数千枚の画像を一括処理でき、煩雑な操作は必要ありません。



●複雑な撮影対象のためのフライトミッションプランニング機能●

文化遺産など複雑な形状をした建物の直下撮影画像から作成されたモデルを基に、詳細な3Dモデルを作成するための最適なフライトプランを自動生成できます。生成されたプランをドローン制御アプリに読み込むことで自動フライト撮影が可能です。



●地上レーザースキャナーに対応●



これまでのカメラで撮影された画像に加えて、地上のレーザースキャナーデータ（LiDAR）をシームレスに統合して、あらゆる写真測量ソフトウェアツールをLiDARデータに適用することが可能です。

X/L-バンド衛星受信システム



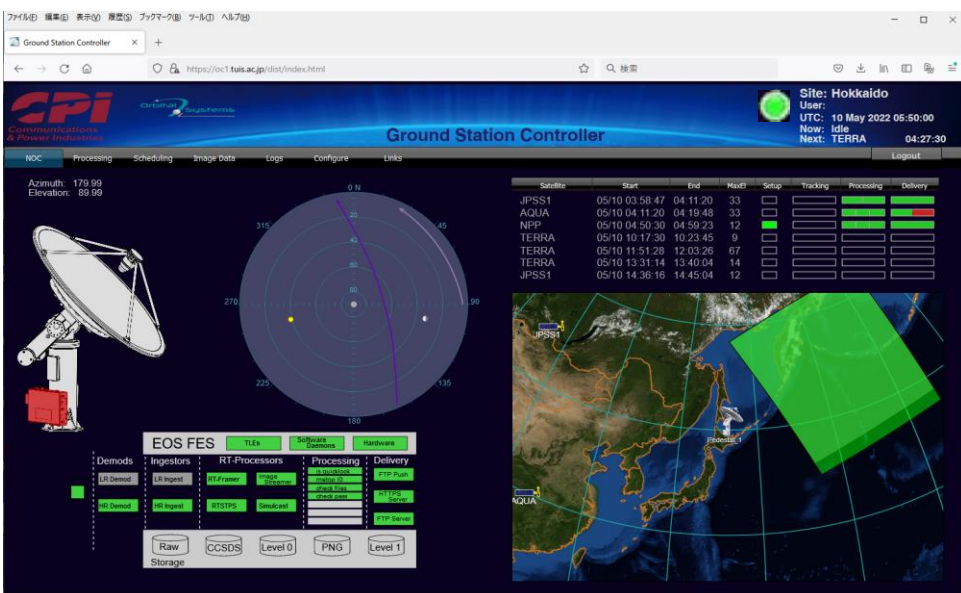
2.4m X/L-バンドアンテナシステム

X/L-バンドの衛星受信に対応した米国CPI社製アンテナシステムです。

EOS-Terra/MODIS , EOS-Aqua/MODIS, NOAA, SuomiNPP, METOP, JPSS1, FY3のデータ受信が可能で、今後打ち上げ予定のMETOP-SGにも拡張可能です。受信状況や観測予定、各種センサによるシステム状態の確認などは、Webブラウザから行うことができます。

また、米国航空宇宙局（NASA）のDirect Readout Laboratory (DRL)で開発されたソフトウェアSimulcastを用いることにより、インターネット経由で世界中のどこからでも、リアルタイムに観測状況をモニタし、クイックルック画像を表示することが可能です。

米国NASAや欧州ESAなどにも導入されている信頼性の高い製品で、極軌道衛星の地上局として採用されています。



EOS-FESソフトウェア



クイックルック画像